2026年10月27日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,239万kW
11時30分、102,393 MW（10エリア同時刻合計）

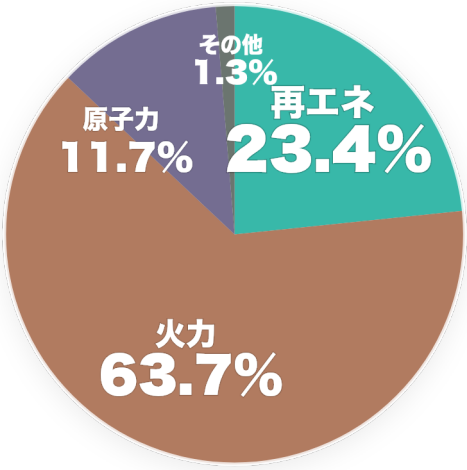
☀ 太陽光ピーク
3,196万kW
11時30分、31,964 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
382万kW
23時30分、3,815 MW

◇ 再エネ最大需要比
42.6%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
94.0 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
68.3 GWh



概況

再エネ比率トップ

北陸 33.5%
27.8 GWh

出力抑制量

0.5 GWh
最大: 中国 0.5 GWh

揚水・蓄電の充電

26.7 GWh
発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、17:00に3,225万kWでした。
- 再エネ比率は北陸が最も高く、発電電力量ベースで33.5%でした。
- 出力抑制は中国。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**23.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**502 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,150 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**42.6%**	12時
出力抑制量	**0.5 GWh**	最大: 中国
揚水・蓄電の充電	**26.7 GWh**	発電構成比には含めない

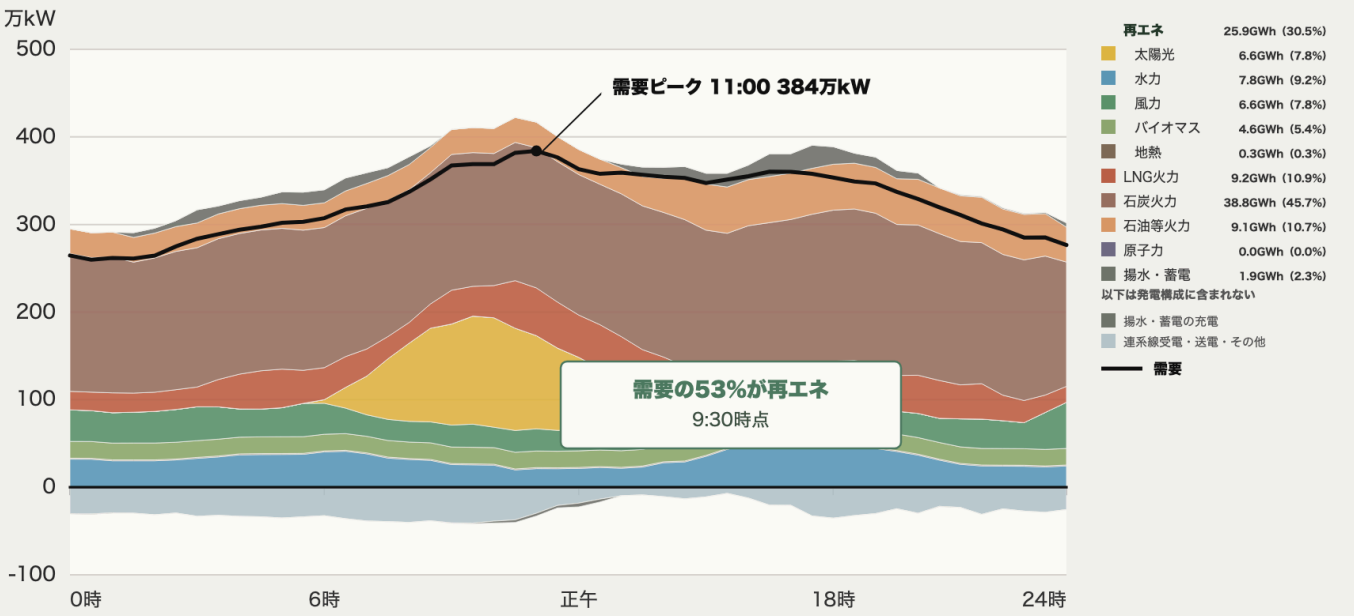
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**30.5%**	**25.9**	**0.0**	**送電 6.6**
東北	**28.6%**	**77.7**	**0.0**	**送電 68.3**
東京	**14.9%**	**86.5**	**0.0**	**受電 94.0**
中部	**32.4%**	**95.4**	**0.0**	**受電 49.9**
北陸	**33.5%**	**27.8**	**0.0**	**送電 14.9**
関西	**17.9%**	**56.9**	**0.0**	**受電 37.0**
中国	**20.7%**	**33.7**	**0.5**	**送電 18.8**
四国	**30.5%**	**29.1**	**0.0**	**送電 32.8**
九州	**28.1%**	**66.3**	**0.0**	**送電 19.8**
沖縄	**11.4%**	**2.7**	**0.0**	—

2026年10月27日の供給実績

北海道エリア

再エネ
25.9GWh
（発電電力量ベース30.5%）

北海道エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
84.9GWh

需要ピーク
11:00、384万kW

連系線・その他
6.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

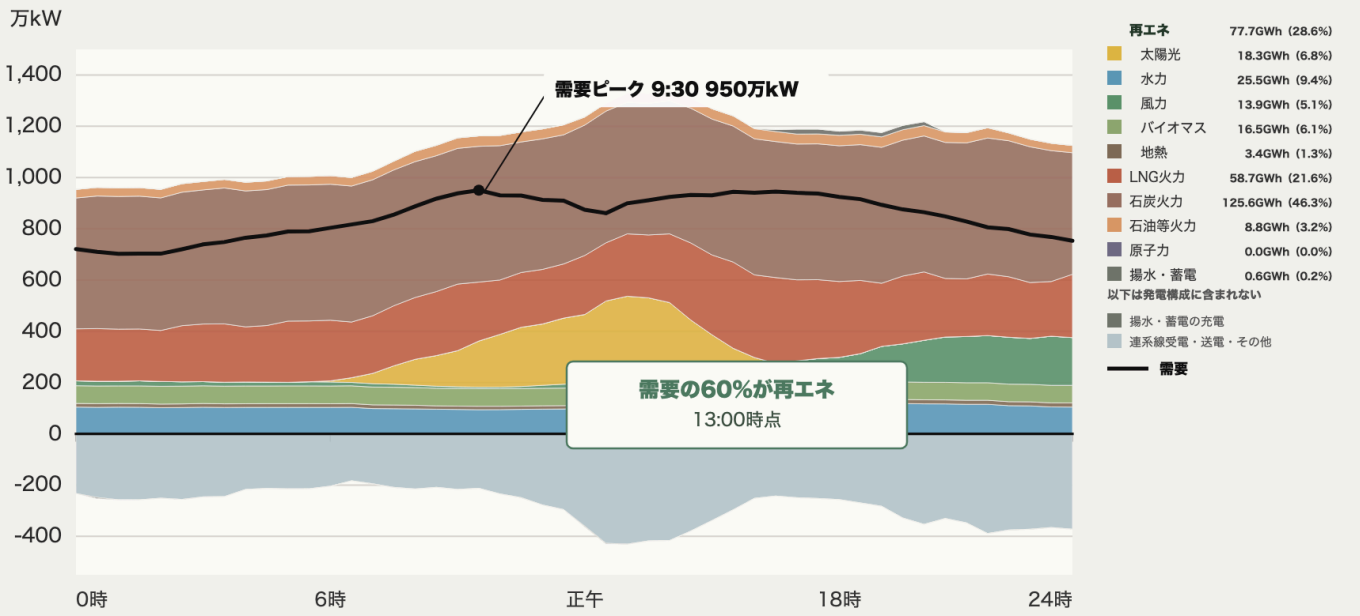
北海道は、太陽光ピーク125万kW、風力ピーク53万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.0%だった。

2026年10月27日の供給実績

東北エリア

再エネ
77.7GWh
（発電電力量ベース28.6%）

東北エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
271.4GWh

需要ピーク
9:30、950万kW

連系線・その他
68.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

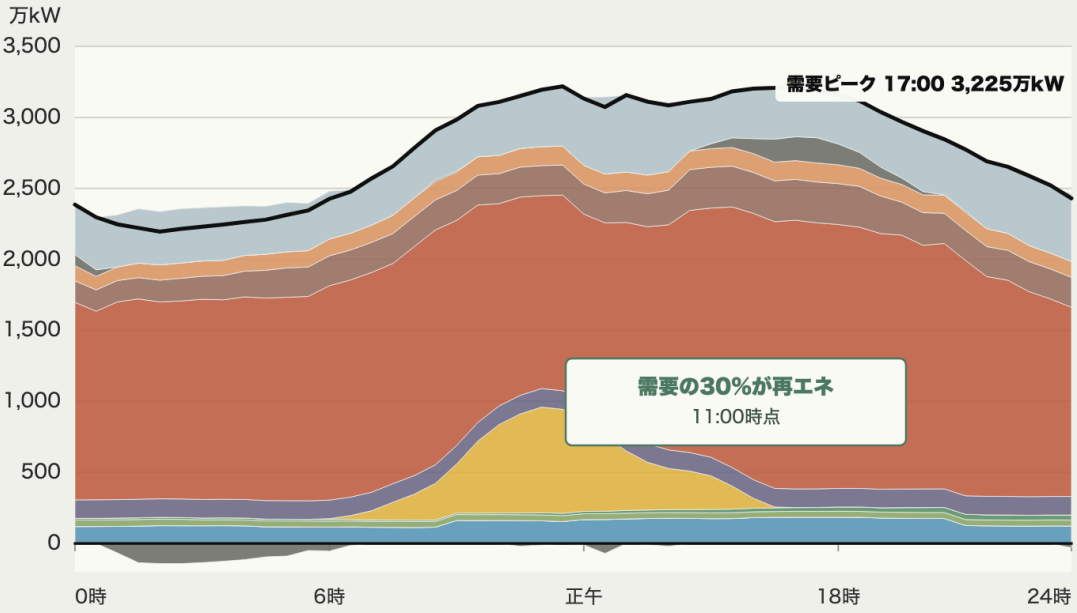
東北は、太陽光ピーク333万kW、風力ピーク192万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.2%だった。

2026年10月27日の供給実績

東京エリア

再エネ
86.5GWh
（発電電力量ベース14.9%）

東京エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 579GWh
（5,791万kWh）

再エネ	86.5GWh (14.9%)
太陽光	36.4GWh (6.3%)
水力	35.2GWh (6.1%)
風力	4.8GWh (0.8%)
バイオマス	10.1GWh (1.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	373.1GWh (64.4%)
石炭火力	52.4GWh (9.1%)
石油等火力	29.3GWh (5.1%)
原子力	31.4GWh (5.4%)
揚水・蓄電	6.4GWh (1.1%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
579.1GWh

需要ピーク
17:00、3,225万kW

連系線・その他
94.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

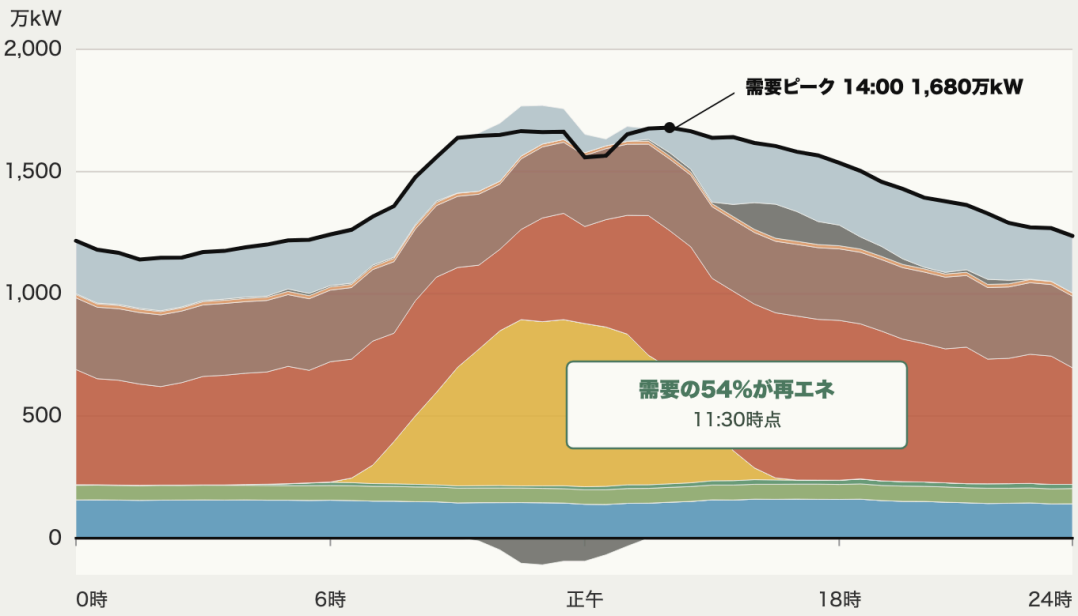
東京は、太陽光ピーク743万kW、風力ピーク36万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.0%だった。

2026年10月27日の供給実績

中部エリア

再エネ
95.3GWh
（発電電力量ベース32.4%）

中部エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 294GWh
（2,940万kWh）

再エネ	95.4GWh (32.4%)
太陽光	41.8GWh (14.2%)
水力	36.2GWh (12.3%)
風力	2.9GWh (1.0%)
バイオマス	14.5GWh (4.9%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	121.0GWh (41.2%)
石炭火力	70.1GWh (23.8%)
石油等火力	3.1GWh (1.0%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	4.5GWh (1.5%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
294.0GWh

需要ピーク
14:00、1,680万kW

連系線・その他
49.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

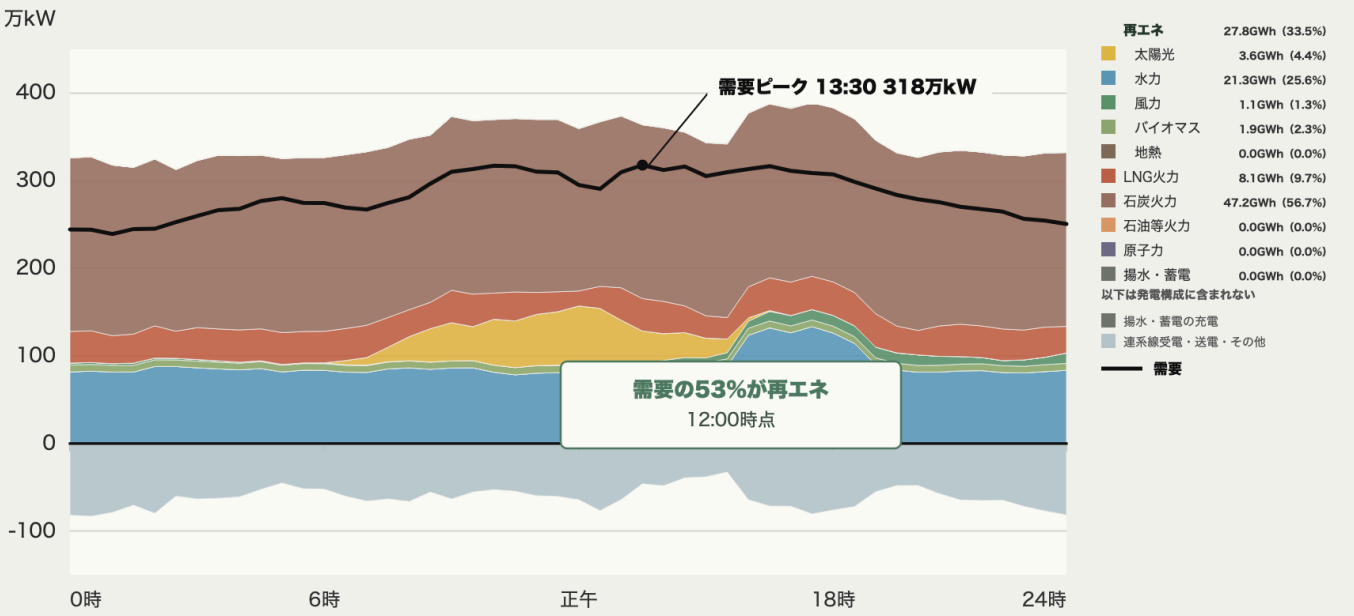
中部は、太陽光ピーク680万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.3%だった。

2026年10月27日の供給実績

北陸エリア

再エネ
27.9GWh
（発電電力量ベース33.5%）

北陸エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
83.1GWh

需要ピーク
13:30、318万kW

連系線・その他
14.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

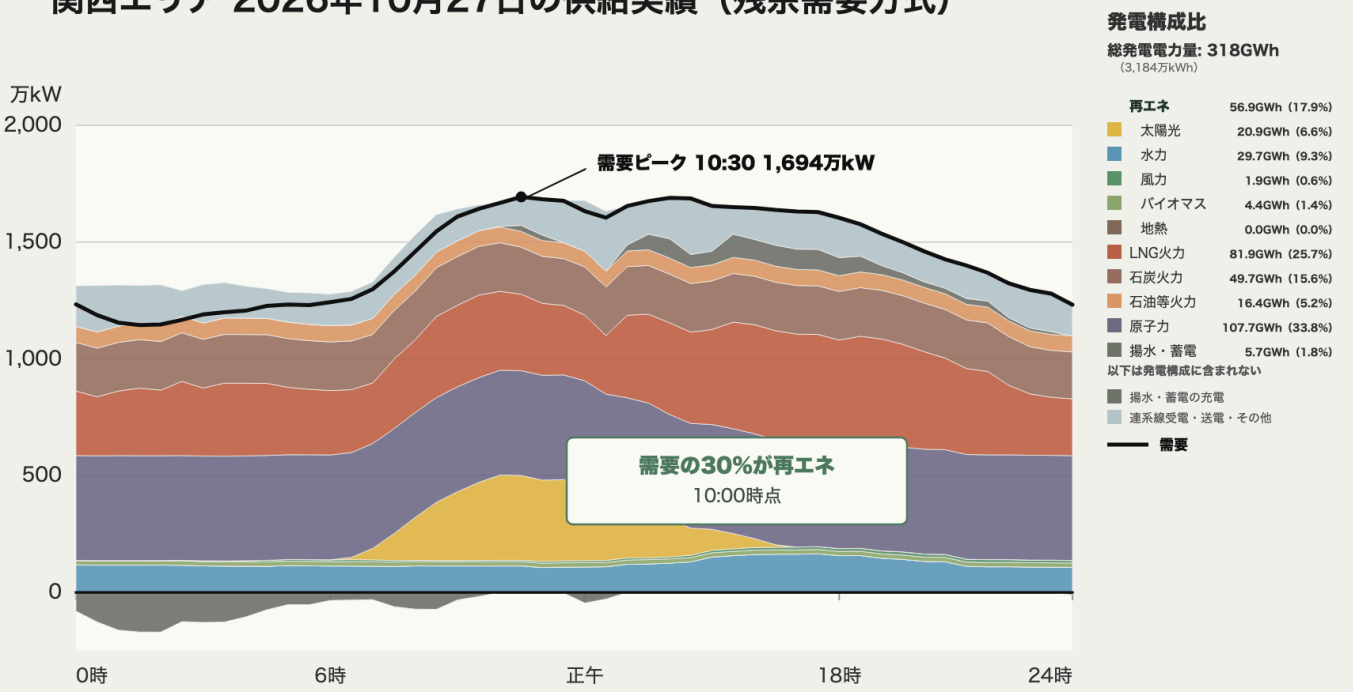
北陸は、太陽光ピーク66万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.2%だった。

2026年10月27日の供給実績

関西エリア

再エネ
56.9GWh
（発電電力量ベース17.9%）

関西エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
318.4GWh

需要ピーク
10:30、1,694万kW

連系線・その他
37.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
9.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

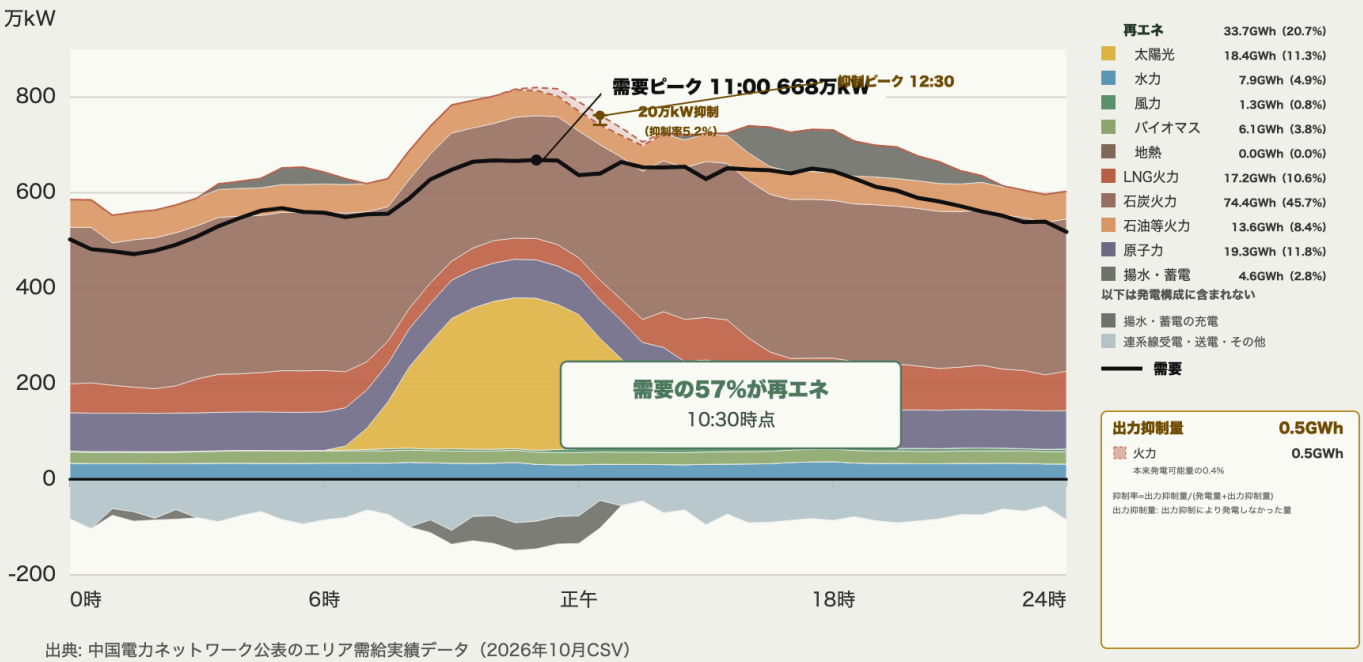
関西は、太陽光ピーク365万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.1%だった。

2026年10月27日の供給実績

中国エリア

再エネ
33.8GWh
（発電電力量ベース20.7%）

中国エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
162.9GWh

需要ピーク
11:00、668万kW

連系線・その他
18.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.5GWh

出力抑制
0.5GWh

概況

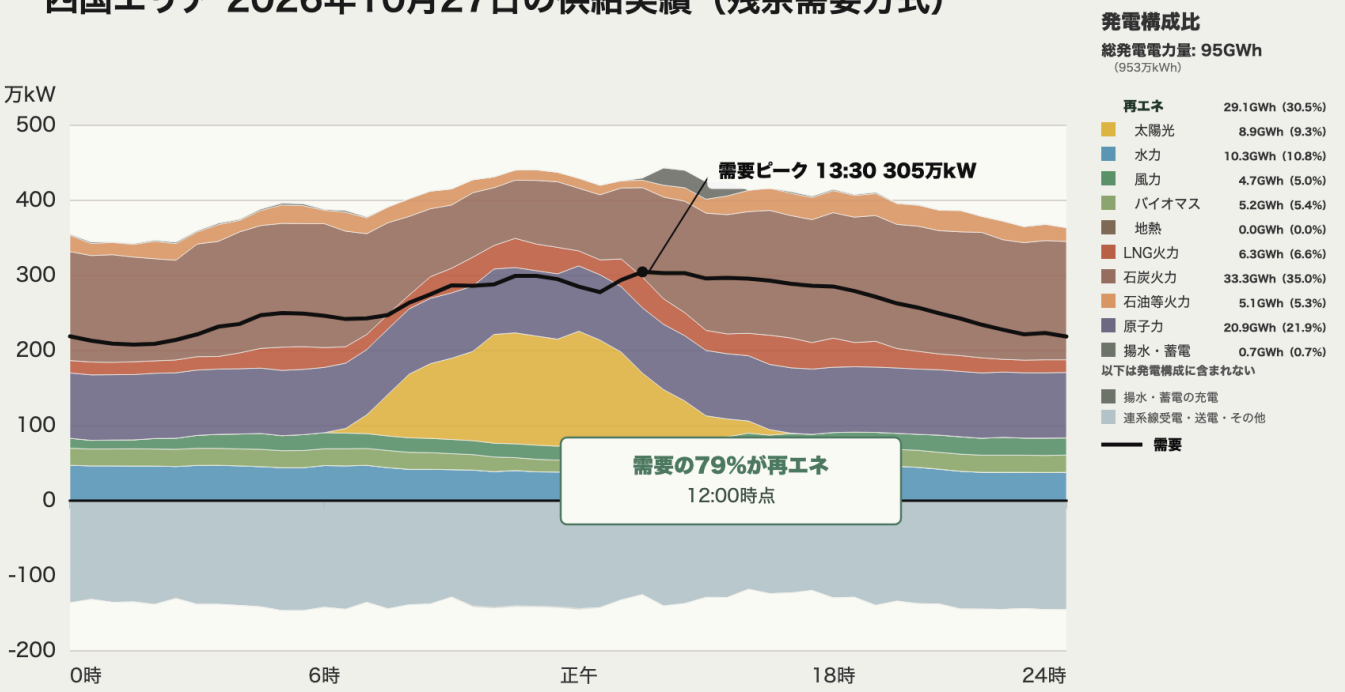
中国は、太陽光ピーク318万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.0%だった。

2026年10月27日の供給実績

四国エリア

再エネ
29.1GWh
（発電電力量ベース30.5%）

四国エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
95.3GWh

需要ピーク
13:30、305万kW

連系線・その他
32.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

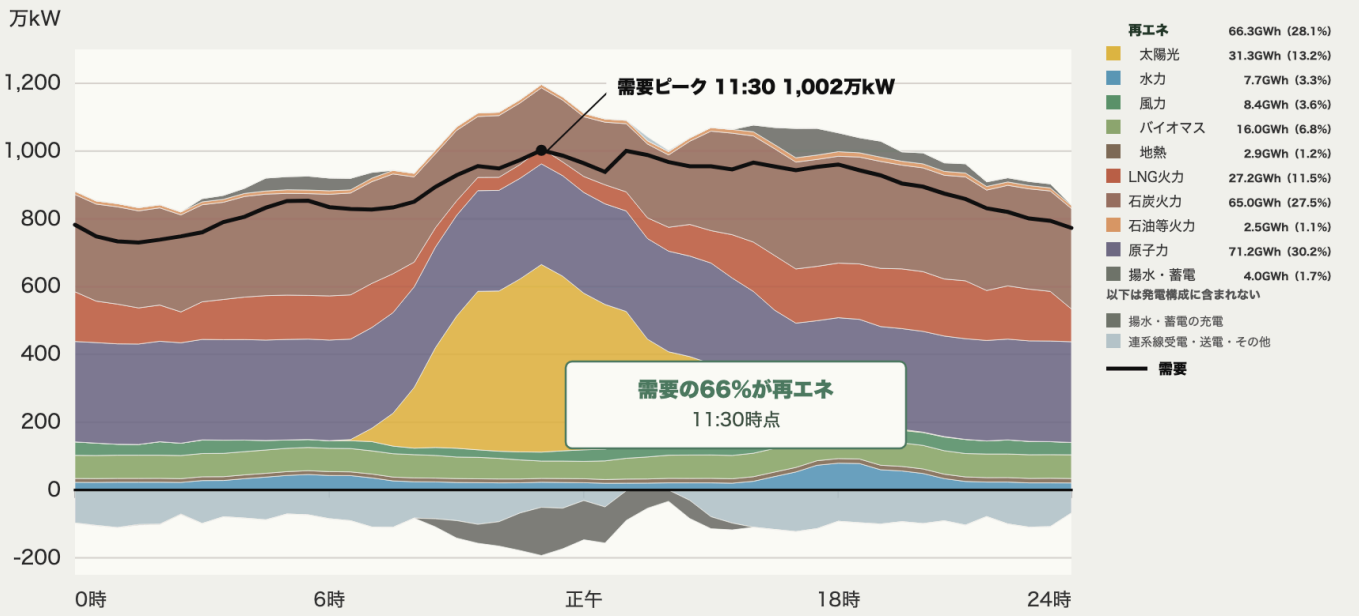
四国は、太陽光ピーク151万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.2%だった。

2026年10月27日の供給実績

九州エリア

再エネ
66.3GWh
（発電電力量ベース28.1%）

九州エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
236.2GWh

需要ピーク
11:30、1,002万kW

連系線・その他
19.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
5.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

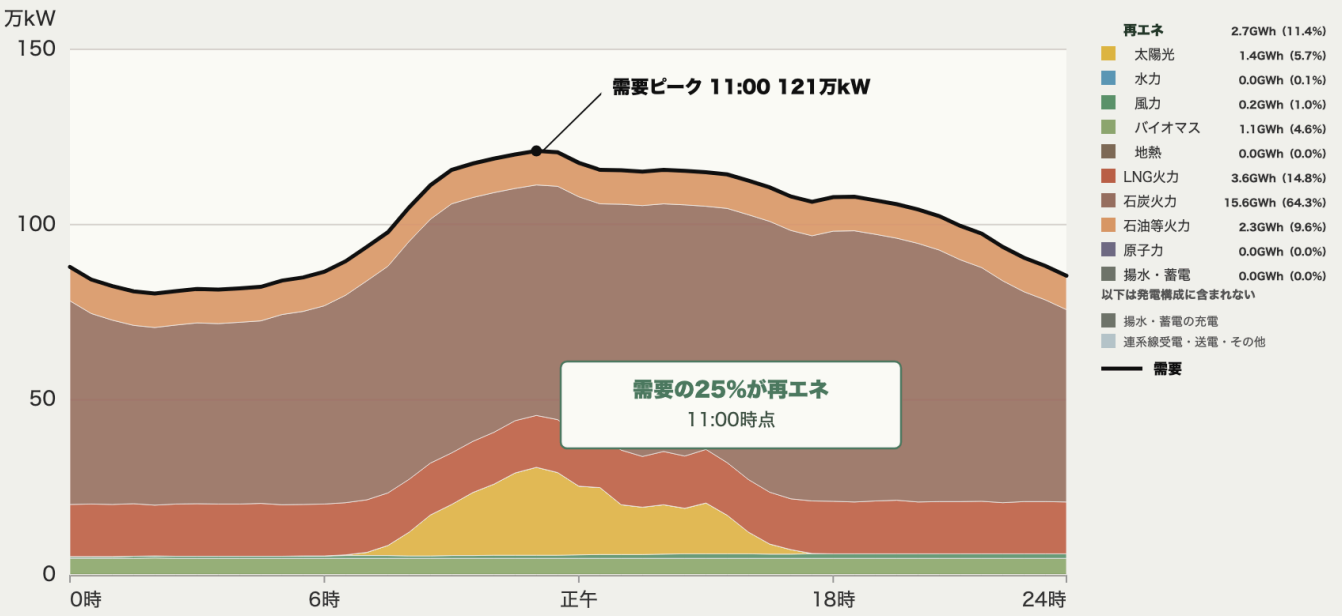
九州は、太陽光ピーク553万kW、風力ピーク47万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.4%だった。

2026年10月27日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.8GWh
（発電電力量ベース11.4%）

沖縄エリア 2026年10月27日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
24.2GWh

需要ピーク
11:00、121万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク25万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.4%だった。